

□ 随 想 □

“ ありがとう ”

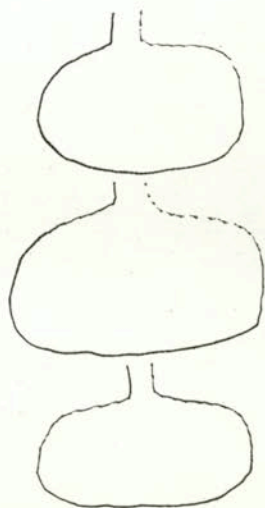
ジャン・メルオー
え・津高和一

私たちは、市電やタクシーの中などで、よく心を打つような文字に目を奪われることがある。それは、「ありがとう」「すみません」「どうぞ」という三つのことばである。これらは、どれも当り前のことばではないかと思われるが、しかし、この当り前のことを私たちは忘れていることが多いのではないだろうか？

ところで、「ありがとう」ということばだけでも考えてみると、感謝することばは私たちの生活にとって非常に大切なことがわかるだろう。母親が自分の子供にまっさきに、そして、繰り返し繰り返し教えることは「ありがとう」ということばであろう。ときには無理にでも「ありがとう」と言わせている母親も見受けられる。それはともかくとして、感謝の心を言い表わすということは、子供だけでなく、社会生活においてすべての人が守るべきエチケットである。そして、このエチケットは聞いた人にも、言った人にも人間としての深い喜び

を与えてくれるものである。

でも、どうして感謝することばは私たちの生活にそれほど重要な役割を果たしているのだろうか？ それは、ありとあらゆるものが、いただきものだからである。私たちが持っているものも、また、私たちの存在そのものも、さらには、自分が存在するためのさまざまな条件さえも、すべては与えられたものであり、従って、一切が賜物たまものだと言えないだろうか？ もちろん、私たちが持っているものや、現在の自分の状態は全部が全部ただ貰い受けたものとは思えないかも知れない。私たち自身の努力の賜物も少なくはないからである。けれども、この場合でも、努力するチャンスはたしかに与えられたものである。たとえば、私たちはみな学校生活の経験を持っているが、現在持っている知識はわれわれの努力によるものに違いないが、しかしよく考えてみると、われわれに知識を提供したり、これを覚えさせてくれた先生が



わ

あつたはずである。けっきょく、私たちは勉強するに當つても、仕事をするに當つても、いつも多くの人々に守られ、導いてもらっているわけである。しかし、こうはいつても、特に大人は日々の生活において、人に支えられてはいるよりも、じまされてはいるような気がする。ことがあるかも知れない。私はもちろん、生活上の競争相手とか敵対者のあることを無視するわけではないけれども、しかし、目を広く転じて、たとえば、水とか電気、ガス、あるいは、交通、通信機関、さらには国際平和のことなどを考えあわせてみるならば、自分の周辺から国際社会に至るまで、私たちの知らない無数の人々が、私たちの快適で人間的な生活を、陰に陽に支えてくれている事実に思い當るであらう。

従つて、私たちがつねに感謝の心を抱き「有難うございます」とその気持を言い表わすことは、まことに自然な美しい心がけだといわなければならない。

人間は、大昔から感謝の心を持つていた。昔の人は食べ物とか、水とか、あるいは、空気や光や音など生活に必要なすべてのものを自然界からもらっているということに気づいて、この大自然の中に何かしら神秘的な力を感じ、これをよく神々とか靈などの名で呼んだものであるが、このふしぎな力に対して何とか感謝の心を表現しようとする努力したのである。とにかく、この大自然は、私たちに生命を与え、これをはぐくむ力である。だから、例えば古代のギリシャ人たちは、この大地を「母」と名づけ、日本人も昔からこの大自然に対しては特別の感情を抱いて、豊作の秋には穀物の神に部落こぞって感謝の祭りを行ったものである。実にお祭りというものはすべて、このような感謝の心を表現するために考え出されたものなのである。

おもしろいことに、感謝の態度は動物の世界にも見受けられる。しかし、人間は感謝の気持を表現するのに、動物的な態度で満足するわけにはゆかない。もっと人間

らしい態度をもつてその表現を高めずにはおれないのである。そして、文明の進んだ社会では、この表現はますます美しくなつた。私たちは、社会生活において感謝の心をふさわしく示すために、幼年時代からいろいろと複雑な表現手段を身につけ、もっとも適切な方法で——たとえば、ことばや笑顔や動作、または、手紙とかプレゼントなどで——これを表現する術を学んできたのである。それでも私たちが、最も適切な表現手段を用いなければ、相手の心情を害するおそれもあるわけである。

私たちが、感謝の心を持たないならば、ものごとの有難さがわからず、本当の喜びを知ることができないであらう。しかし、感謝の心さえ持っていれば、自分の受けた賜物の価値を正しく認め、これを深く味わい、それによつて心から喜ぶことができるだろう。そして、自分のもらった恵みを大切にそれを何倍にも活用しようとするのに違いない。

さて、昨年は、私たち神戸っ子にとっては、記念すべき開港百年祭の年であつた。いったい何故、現代の私たちが一世紀も昔の開港を有難がる必要があるのだろうか？ 多くの人は、あまりにもかけはなれたことのように感じないであろうか？ しかし、よく考えてみよう、今日の神戸は、ずっと昔から、とくにこの百年間の、多くの人々の努力の結晶ではないだろうか？ 私たち神戸っ子が、現在きわめて快適な環境の中で生活しているのは、このような人々のおかげなのである。

毎年多くの祝いがあるが、私たちは、それぞれの目的を生かして、あらゆる種類の恵みを感謝しよう。祝いは感謝を示すものであるから、それは常に喜ばしいものである。だから、私たちが毎日、神仏に向つて手を合わせまた、人々に向つて「有難う」と語りかけるならば、日々の生活がお祝いのように楽しく喜びにあふれたものとなるのではなからうか？

□ 随 想 □

夜が明けなければ

いいのにな……

内藤 国雄

え・津高和一

じっと寝転んでいるだけでも、汗がはい出してきて、皮膚に丸い粒をつくる。

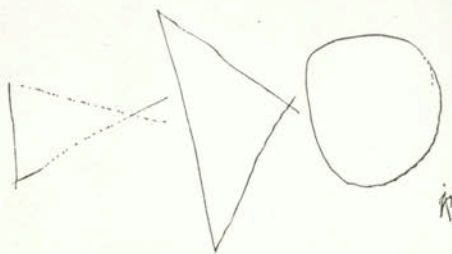
針の先でついたほどの大きさが、だんだんふくれあがり、隣りとくっついて、タラタラッと流れ落ちる。落ちる途中の粒も合流して幾筋もの流れができる。

やせっぽっちの私でもこれだけ汗を出すのだから、二十貫近い皮膚面積の広い人はどれだけ汗にまみれているだろうか……。親しい人の顔がふと思いで出されたりする。

とにかく暑い。頭の中に膜が張ったようで、日中はボンヤリしているよりしやうがない。汗の出る時節になると、メガネをかけていない人がうらやましい。別に夏だけのことでなく、冬はメガネのツルが冷えすぎていやだし、一年中を通じても鼻の根もとを押さえつけられる圧迫感は不快なのだが、特に汗をかくとメガネがくもる。メガネのツルとレンズを拭う時間——タバコを一ぶくす

うていどの時間なのだが、度重なれば相当なものである。その時間が惜しくて仕方がない。

夏の対局は不快指数の高いときだけに、プロでも勝負が荒くなる。冬休みの二週間にくらべて、夏は二カ月もの長い休みがあるのは、連盟がコクのある将棋をさしてもらおうとする配慮からである。私はだいたい月平均二十題の詰め将棋を創作する。夏休みの対局のないときに、創り溜めしておこうと思うのだが、このごろのように暑さがきびしいと、溜めるどころの騒ぎではない。日の迫った出題すら、うまくまとまらないことが多い。どうにも考え切れず、重苦しい空気をかき回すだけの扇風機に当たりながら畳に頭をつけた。気持ちよく海の中で泳いでいる。この際、突然海が出てくることぐらいいはけっしておかしくはない。全然泳げない私が、軽く手足を動かすだけで体はスイスイ水を切って進んでいるのだから……。海岸の人がアズキ粒のように見える沖合いで、鼻



っ柱のトンがったサメに襲われた。こどものころ赤いフンドシを長くのばしていれば、サメはかかってこないと聞いたことを思い出した。時代が変っているため、フンドシなどしているはずがない。必死に逃げた。アメリカ映画のターザンそののけの勢い、だが追ってくるサメのスピードがこれまた早い。二の腕に鋭いキバが立った。

「痛い」

ほんとうに痛かった。いっぺんに目がさめた。

次女の一寸六カ月の恭子が、じゃれついて私の腕に歯をたてたのだ。

「これッ」としかるかわりに抱きあげた。こんどはよだれが口に入ってきた。

日が沈み、大人の散歩にはもってこいの時間がやってきた。私の散歩には電車まで加わってくれる。バアー、キャバレー、おいしい寿司(すし)屋にいろんな食べ物の豊かなオデン屋。さらに東京で流行のスナックバアー：ETC。

神戸三宮の夜は雑然としてはいるが、私には懐しく、楽しい思い出がいっぱい込められている。兄貴の自転車に乗せられて、三宮にあった藤内将棋教室へはじめて行ったのは十三才のときだった。当時の私は内気そのもの、入って他流試合をする勇氣がなく兄貴が二、三番指して出てくるまで、おもてで自転車にもたれてぼんやりと、あたりの風景を見回していたものだ。

パラダイスー楽天地とかわるネオンが、いやでも目にとびこんできた。以来、私の記憶の中にはネオンといえばパラダイス。楽天地といえばネオンといった、連鎖反応的なものが焼きつけられて

しまったようだ。三宮との結びつきは、ネオンからだったのが、藤内教室への入門、プロ棋士としての道を歩むことによって、その結び目はいよいよ固くなったのだ。

苦学したすえに薬剤師の免許を取った父は兄弟で将棋を指すのが気に入らず、盤を背のどかなところへ放り上げてしまったり、とにかく机に向ってさえいれればご気嫌だった。唯一の楽しみは茶碗で冷や酒をゴクリとやること。そんな親父の血を引いたのか、私の酒量はとみに上がり、将棋連盟でベストテンに数えられるようになったのは六段ごろからのことだった。いまでも酒を飲むとき、親父がなんともいえない嬉しそうに杯を傾けていた表情が目につかんでくる。

最初は藤内先生のお供で知った三宮だが、だん一人歩きするようになると、勝っても三宮、敗けても三宮と、毎晩三宮のどこかへ顔を出すようになっていた。散歩の足がのびたスタンドで、よく冷えたビールがキュッと胃袋を刺激した。とたんに頭がシンと冴えてきた。

だまりこんで目を閉じる。うそみたいに簡単に昼間の詰め将棋が出来上がった。

一騒ぎしたあと席を変えてもう一題。夜行性の私は詰め将棋の創作も夜が多い。創作がはずめば酒もはずむ。あちらで三合こちらで二合。丸橋忠弥もどきの千鳥足で、西宮の自宅へたどりついたのは午前〇時。三題も完成した詰め将棋をひっさげて。なんとなく幸福だ。夜が明けなければいいのに。あの暑い昼がやってこなければ。

△棋士・八段▽

れんさいずいそう III

Rocking Chair

十河 巖 〈随筆家〉

オランウータンのお産

すこし以前のことだが、さる動物園のオランウータンが妊娠して、いよいよ分娩の日が間近に迫ってきた。母親としての性情があまりにも人間のそれと似通っているので、さぞかしその方法も人間に似ているのだろう。あるいは人間とは全然ちがった方法で赤ん坊を生むのかもしれないというので、大変な興味をそそっていた。そこで人間の産婦人科医が分娩の場に立会うことになったが、その医師は、その分娩方法を研究し、結果によって人間の場合の参考にもなるのではないかという考えもあったらしい。

陣痛状態もやはり人間の場合によく似ていた。いよいよ最後の陣痛がおこってきたとき、オランウータンはガバツとはねおき、一躍天井の鉄棒にぶら下ったのである。あれだけ大きい図体でぶら下ると、全身の重さが腹部にかかり腹に力がグツとこもることになる。間もなく彼女からやすやすと赤ちゃんが生れてたのである。

とっさに彼女は長い左の腕を下にのばした。むろん右手は鉄棒につかまってぶらさがったままである。下にのばした左の手は下からとび出した赤ちゃんをはっしと受けとめて、産婦人科医の手に汗を握らせた。

現在わたしは病院の隣りに住んでいるがその病院には

Kさんという名医が産婦人科を担当しているのだ。毎朝ぞろぞろとおなかの大きいご婦人方が列をなして坂をのぼってゆく。どうしてもお産のことが気にかかる。いちどオランウータン式分娩法のその後についてご存知かどうかK先生にきいてみたいと思っているが、まだその機会を得ない。いかに万物の霊長たる人間でも、自分で生みおとす赤ん坊を自分の手で受け止めるような器用な早業はできるはずがない。オランウータンの場合、左手で足らなければさらに二本の足が手助けをする。しかも手は人間よりも体に比例してもずっと大きい。だからオランウータンにやれても人間にはむずかしいということになるのだと思われる。

オランウータンのあの大きい手でギュツと手をつかまれて、あわやオリの中へ引きずりこまれ、ポリポリと頭からかぶられようと実にあぶない目にあったことがある。それは日本軍がジャワに上陸したころのこと、昭和十七年の三月だった。

上陸後わずか数日でオランダ軍戡定は成就したが、インドネシア人とはなんとしても将来仲よくしていかねばならないので、かれらの感情を害することのないようにという配慮から、一切の接収が終るまでの日本の部隊は

バンドン市の市街をとり巻いたまま数日間というものは兵隊を一步も市内には入れなかった。

そこで降伏調印の当日最初の報道班員として、というよりは最初の新聞記者として誰よりもさきに市内に入ることが許可された。

市内の連隊本部を訪れたときには、まだオランダ兵の門衛が銃剣をつけたままで立哨していた。

「内部を見たい」と告げると、

「すこし待て」

といったまま一人が兵営の中へかけこんだ。しばらくして戻ってきた歩哨は、

「どうぞこちらへ！」

といて部隊長室に案内しようとした。

将校室の外には連隊長以下金ピカの特校連中が身なりをつくろいながら一列にならんで敬礼していた。どうやら自動車につけた杜旗のマークが、海軍の旗に似ているので、海軍の将校と間違えたらしい。

自動車はずんずん奥へ走りつづけた。将校の敬礼をしり目にかけて、兵営の裏の方へ乗りこんでいった。高さ一・五メートルぐらいのコンクリートの棚がずらりと立っていた。前側には将兵の奥さん連中が、内ら側には軍人がびったり棚をはさんですき間から手と手をにぎり合ったり、中には接吻をかわしているものも少くない。あまりにも生々しい混乱状態に驚きながらいちいちカメラのシャッターを切っていた。当時の市街はこんなにてんやわんやの有様である。高さ十メートルもある道路の両側の花焰樹の花はまっさかりで、文字の通り真赤な百合のように大きい花がまるで焰のようにもえあがっていた。自動車をのりまわしているうちに、動物園に迷いこんでしまった。

中央の大きいオリに二ひきの大オランウータンが、こちらの姿をみつけて咆哮^{ほろろ}した。動物の声ばかりで人間の姿など全然見あたらない動物園ほど無気味なものはない。

ない。

動物はここ数日間、餌も、水ももらっていないらしい。

雄のオランウータンはとまり木にぶらさがっているが、お尻の大きい膺は赤黒くはれ上っていて、気持が悪い。雄が馬ほどの男性をだらりとぶらさげているのを雌が下から口うけで小便をのんでいる。

そのとき漸く飼育人らしい一人のインドネシア人が姿を見せた。呼びつけて、

「水をやれ」

と命じた。飼育係は不精無精バケツで水をはこんできてオランウータンに飲ませた。二頭はなんべんも頭をさげおじぎをしていた。

また、人間が小便をのむような話は遭難船の場合によく聞くことだがオランウータンの仲間でもやはり飢餓に追われるとちっとも人間と違わないことをするものだなと思つた。

飼育係は「このオランウータンは人間によく慣れていて握手ぐらい平気だ」といいながら自ら大きい手と握り合つた。

「あなたもいちど握手してごらんささい平気ですよ」といってきかない。

憶病と思われてもしゃくだと考えながら、オランウータンの手と握手した。たちまち習性にもどつた彼はぐつと手に力をこめてオリの中へ引きずりこもうとした。ひやつとして力いっぱい手を引き抜いた。残念だといわぬばかりにかればウオーウオーと吼えつづけた。頭からまるかぶりになる一步手前である。なにぶん飢えきつていゝのだ。手をだす前に万一のことがあつてはと思つて掌のひらや手の甲いちめに唾(つば)をつけていたのだ。これをしていなければ全く危いところだった。

それにしてもオランウータンの手の大きいことと、手の力の強いことには驚いた。いまでもその手の感触がのこっている。それほど四肢が大きければこそ、鉄棒式安産法も可能だったにちがいない。

お慶びの日に…

ウェディングケーキ
デコレーションケーキ
松竹梅引菓子
紅 白 饅 頭



神戸にそだって 70年

 **風月堂**

元町3丁目 TEL 079-2412-5

さんちかスイーツタウン TEL 079-3455



呉邦彦

みよこや

神戸店 大丸 前

電話神戸 079-3448番(代)

大阪店 阪神百貨店三階

電話大阪 06-9584番

姫路店やまとやしき百貨店四階

電話姫路 079-2222番

KOBE MANは
O-SHIBATAで秋を装う！



柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106

男らしさが
匂う！
大和屋シャツ



紳士シャツ専門店

大和屋シャツ

三宮センター街 TEL 33-6956



写真は古林喜楽氏

★神戸っ子対談★

国際港都にふさわしい教育を！

古林 喜楽 〈神戸大学名誉教授〉 山田 恭一 〈十合神戸店次長〉

神戸青年会議所理事

★「物言わずして人を化す」家庭教育

山田 私は神戸生まれですが、先生のお生まれはどちらですか。

古林 岩手県の一ノ関です。小学校一年のとき兵庫県に移ってきて、小学校時代は明石、それからずっと神戸です。ね。明石へ移ってきたとき編入学であったため、一番

からの悪い小学校に入れられました。暴れん坊の漁師の子供たちの中で存分にきたえられました。でもそのおかげで、芯が強くなりましたし、良い成績をあげるのもたやすく、神童とまでいわれまして(笑)

山田 家庭教育が良かったのでしょうか。

古林 私の父母は、物言わずして人を化すという実行型でしたから知らぬ間に教育されていたのかもわかりませ

ん。

山田 今は家庭内でも、学校でも上下の関係をみてみると、なにか仲間意識といったものがありますね。ただ地位や肩書だけでは、下の者はいうことを聞かない。

古林 そうです。何につけても上に立つものは敬服されないとだめです。

山田 敬服、すなわち信頼関係ですね。

★教育は率先垂範から始まる

古林 そのためには、上に立つものが率先垂範することですよ。身を以て実践し、身につけた実力でこそしつけができる。

山田 そういう実力があれば、部下でも学生でも本当に叱ることができる。叱る必要のある時は、絶対に叱らないといけません。

古林 どこがまちがっているのかを知らない学生がいるのですね。そういう学生には、そのまちがいを十分に教える必要があります。

山田 行動のあり方、正しい基準を教える必要がありますね。

古林 いわゆる「教育」は、せいぜい高校までですね。本来、大学生に教育をするというのがおかしい、大学は学生を学問的に鍛えるところです。学生に暇のないぐらいに学問的に鍛える。そして若さの良い面を引きずり出す、これが今の大学ではできない。

山田 それは企業においても同じですね。私の会社では管理者の教育で合宿訓練をします。宿題を毎日与え、まして夜おそくまでシゴキます。それでも若い人達は、我々のいつていることを納得さえしたら仕事を徹底的にやるだけのエネルギーを発揮しますね。

古林 納得させるには、上に立つ者がそれだけの実力を持っていないといけません。先生が怠けていて、学生に勉強せよといっても、するはずがない。

山田 新入社員の面接をして、何か今の学生は画一化さ

れているように思えるのですが。

古林 就職試験の面接ですか。この時の学生のしゃべる言葉には嘘が多い。本当のことを何もかもズバリいうものがあつたら、それは大した人物ですよ(笑)

山田 あくの強い学生など、入社すると実にバリバリ仕事をこなしますね。

★学生気質——今昔

古林 私達の頃は、学生黄金時代ですよ。神戸高商の時神戸の一流の料亭で、飲み放題食い放題で、何と会費が二円。少々暴れて、食器壊の破損料のついたときで、五円。大言壮語して天下を論じ人生を語りあったものでその点、今の学生はかわいそうです。それに政治が政治でしょう。学生がムカムカする気持は私らにはよくわかる。といつても私は勿論学生たちには、君らは未来の日本をになつて立つ大事な身体だ、警棒でどやされるような安物の身体でない。

自分の身体の勿体なさをとくと考えよと悟っているのですが、人間的には皆純真なよい子です。昔学生運動で暴れたのが、今では大臣やそうそうたる社長・重役になつていきますからね。

山田 実は、私もそういう学生でして(笑)

古林 学校はどちらですか。

山田 神戸生まれですが、松山高専から京都大学の農学部です。

古林 おや、大学は私と同じですね。私は神戸高専から京都大学の経済学部を出たのです。

山田 大学時代学生運動をしていた関係で、入社してから人事の仕事ばかりしているのでしょうかね(笑)

古林 社内教育の方面ですか。

山田 ええ。神戸に入社して、東京で七年ばかり教育係長をしていました。

古林 百貨店の仕事は、千変万化の客が相手の商売ですから、社員教育もなかなかむずかしいでしょう。

★働くというプロ意識をもたせる

山田 人間の感情は個々に異なりますが、私は社員に対して、働くというプロ意識を強く訴えているのです。企業は学校と違って給料を払うのですから、企業教育は働くというプロ意識をもたせる、というこの一語に尽きると思うのです。

古林 働きに喜びを感じる、ということですね。押しつけて働かせるのでなく、自発的に働かせるのです。

山田 そうです。ですから管理者としては、働きの中に喜びを感じさせる環境なり組織なりを整えることです。

古林 会社のためにでなく、自分のために働くのだ、という意識が必要だという考え方もでてくる。最近の近代的組織論では、人間の行動に視点をあてて人間を生かすような組織づくりということが課題となっている。組織の形態でなく、いかに組織を生かすか、ということですね。

山田 人を生かすためには組織は手段である。

古林 そうです。組織を通して、働いている人をいかに奮立たせるか、の研究が進んでいるのです。

山田 今までの、働かせるという教育では仕事のやり方とか監督の仕方が主力であったと思うのですが、今後の教育は、会社の考え方なり、なぜ働かねばならないか、会社がよくなれば自分達もよくなるのだ、という意識づけの教育にウエイトがおかれるでしょうね。

古林 それは社内教育だけではだめで、会社自体がそういうことのできる組織になっていることが必要です。

山田 そういう面で、管理監督者の企業教育がやかましくいわれているのですね。私どもでは、教育を四つに分けて、第一に経営教育です。これは経営意思、

つまりトップの目標、方針や考え方を従業員に的確に浸透させるための教育です。つまり会社の考え方、進み方がどういふものであり、これが社員にとってどういうプラスを与えるか、を徹底して教えてゆくことです。

古林 それに加えて、百貨店の社会的役割を教えることでしょうか。自分の仕事と社会とのつながりを認識させる教育ですね。

山田 こういった教育は、いずれもトップなり、トップの関係者の仕事なのです。第二に、現在、能力主義とよくいわれていますが、能力といっても能力の評価のものがさしげなければ情実人事になってしまうのです。個々の社員にどういふ能力を期待するか、会社としてどういふ行動をしてほしいか、を教えてゆくことが必要ですね。あと二つは、業務に必要な知識・技能を教える教育と、百貨店人としての良識の涵養をはかる教育です。

古林 能力を発揮する場所をまず与えることですね。このことは経営者側の責任ですからね。



写真は山田恭一氏

★これからの人事管理は個人管理を徹底すること

山田 確かにそうです。ですから、これからの人事管理は個人管理を徹底しないとだめです。その個性をいかに發揮させるかが今後の人事管理の要だと思ふのです。若いエネルギーを仕事の中でフルに發揮させる、という点では現在の学生は個性的な学生が少ないですね。

古林 そういふ学生は勿論いるのです。ただ現在の大学では学生の能力を十分に伸ばせないですね。講義に出るぐらいなら雀荘で四人で積木遊びをする方が、頭脳の訓練になる、というのです(笑)

山田 創造的訓練ですか(笑)

古林 今の学生は政治の貧困にも愛想をつかしている。蟹の親が横に這いながら、子蟹に縦に這えというような恰好では駄目で、現在の大人がまず率先垂範をしないと最近の若い者は、なんてとてもいえる資格がないですよ。山田 企業でもそういうことがいえますね。上に立つ者がよく働く会社でないと、会社はよくなりません。

古林 学生を会社に送りこむ側としてみると、学生の採用の仕方では会社がのびるか、のびないかが分りますね。無難な学生ばかり採用する企業ではだめです。

山田 無難な人は、マイナスにならないかわりにプラスにもならないですね。

古林 積極的貢献となると、多少クセのある人間でないと期待できません。

山田 企業の教育という点では、社長自ら率先して働いている企業では、自然に教育ができるのです。

古林 経営者が真剣に自社の経営に打ちこんだらウィークデイにゴルフをやるような暇はないはずですよ。

山田 先生の大学における率先垂範をお話してください。古林 講義の時は一本勝負の気持で行きます。前の晩は非常に注意してベスト・コンディションを整えるように努めているのです。こちらが気魄をこめてする講義は学生に通じますね。学生の眼の輝きが違いますよ。壇上に

あがって礼をしますと、最初は学生は礼もしないのですが、だんだんと礼をするようになります。

★神戸に国際港都としてのまちづくりを期待する

山田 神戸の生活は、かなり長くなるのでしようか。

古林 私も家内も神戸生まれではないけれども、市電が初めて兵庫から春日野道まで開通して、一区三錢四区で十二錢だった頃から神戸を知っています。私は、昔は、脇浜でも水泳ができましたね。神戸の海という海は片っ端しから泳ぎましたよ。神戸には外国人がこれだけたくさん住んでいるのですから、国際港都としてのまちづくりをもっとやってもらいたい。これが経済の問題にも結びつくと思うのです。国際港都としての地盤の上にマッチするような経済体制をつくりあげる、というアイデアが必要です。将来中国やソ連との貿易が盛んになれば断然神戸が強い。こういった未来を見通しに長期計画も必要でしょう。東京まで三十分時代がくれば東京へ本社を移す必要もなくなりますよ。

山田 神戸は港で百年経ってきた街ですからね。

古林 私は神戸大学の学長の時、百年計画で神戸大学を国際大学にしようと思ったこともある。各国の大統領が神戸大学の卒業生である、という実に楽しい構想です。しかし、百年計画というと、みんな驚いてしまう。大学は企業とちがって百年ぐらいは当然必要なのです。

山田 人材の育成確保は、学校教育では頼りにならないから企業教育で、という声がありますか。

古林 たとえば、ハーバード大学では、経営学は大学院だけしかないのです。それで就職はすぐよい。ところが日本では逆で、経済とか経営になると、大学院に行く就職の条件が悪くなる。つまり人材を活用するだけの能力が企業にない。悲しいことです。

山田 神戸の街の特色は国際性ということだから、この国際性を生かせるような大学教育であり、同時に企業の受入れ体制であってほしいです。(文責・編集部)

経済ポケット

ジャーナル

★国際空港建設と 淡路の土地利用構想

夢のかけ橋、関西新国際空港といたった開発計画でクロスアップされている淡路島の土地利用構想、都市計画構想がまとまった。この調査は西山卯三京大教授をリーダーとする調査団が四十一年から手をつけていたもので「関西新国際空港建設にもなう淡路島の地域計画」が主眼となっている。

調査によると、淡路島の土地利用構想は広域的開発を考えた島全体の性格を三つに分け、①島南部の論鶴羽山一帯と空港周辺の騒音地域の大部分は、大規模開発をしない②東海岸一帯の比較的平坦な部分は大規模な都市開発を行ない、産業エリアとする③いわゆる西浦、その他地域は農業と観光を中心とした開発をし、生活エリアとするなど河川の流域的あり方を考える。

▽土地利用計画Ⅱ東海岸は大阪湾一帯の港湾計画の環として開発が要請される。海岸線にふ頭、その西側に流通施設群が並び、さらに西側は商業施設帯山手は住宅地。

▽交通計画Ⅱ紀淡海峡に架橋またはトンネルができること、四国と名古屋、東京を直結するものとして淡路のハイウェイは大きな意味を持つ。和歌山と鳴門



を結ぶルートと山陽道とを連絡するような形で、空港を通るハイウェイを走らす。

▽緑地・レクリエーション計画Ⅱ論鶴羽山一帯、先山の周辺淡路町一帯は自然環境がすぐ



れ、ハイキングルートに適している。ルートは岩屋、湊、福良のレクリエーション施設や論鶴羽山の北側のふもと牧場、一宮町から五色町、西淡町にまたがる果樹公園、山林を重ねることなどで変化のある産業公園的なものが考えられる。

★生野・但馬に 未開発の大鉱床

兵庫県は古くから全国でも屈指の鉱山県。最近鉱量の枯渇が目立ち、抜本的な鉱業振興策が必要となっているが、このほど近畿鉱山会に委託していた地質調査の結果、金と銀を含む非常に大規模な鉱床が未開発のまま眠っていることがわかった。このため県ではさらに詳しく探鉱

するとともに、金属鉱物探鉱促進事業団による広域調査・精密調査―企業の探鉱という三段階方式による調査対象地域に選定してもらうよう通産省に要請する。

県下の鉱山開発は生野・但馬地域で古くから生野、明延、大身谷の各鉱山が知られている。鉱床も層状含銅硫化鉄鉱床と鉱脈鉱床とがあつて、とくに後者には銅、鉛、亜鉛、すず、タンクステン、鉍、金、銀、アンチモン、の鉱脈があり、わが国でも屈指の大鉱床地区。

すでに開発された鉱床の周辺部や鉱床内の鉱床については、かなりくわしく調査研究されているが、これら鉱床相互間、とくに各鉱区間の鉱床の関連を明らかにする総合的な調査はされていない。近畿鉱山会の調査の結果、①生野・但馬地域には多数の大規模な石英脈(低品位の金、銀を含む)があり、生野、明延、大身谷各鉱床の下底は企きのワクを越えて取り上げるべきである②鉱脈鉱床の富鉱体は必ずしも地表に露出していないので、地質調査に並行して地球物理探査と試掘による立体的な

調査が必要③地域内にみられる丹波帯、舞鶴帯、生野層群などの層序を明らかにし、構造的な関係を解明することが必要―などがわかり、調査地域の重要性が示された。

★兵庫・徳島 経済交流懇談会開く

兵庫・徳島経済交流懇談会が七月下旬神戸で開かれた。この会議は淡路島をはさんで地理的、経済的に密接な関係にある両県が共通の問題を討議しようというもので、ことし二回目。志摩誠一徳島商工会議所会頭は「淡路島の関西新国際空港には大賛成、空港ができたなら吉野川の水をぜひ使わせて下さい。徳島県は経済企画庁が開発計画している中四国ブロックに編入されているのに反対で、むしろ阪神経済圏にはいたい。兵庫県の協力を期待している」と述べれば、金井兵庫県知事も「関西新国際空港実現には吉野川の水など徳島県の実力を借りなければならぬ。今後は、瀬戸内海をきれいにする運動」についても協力して促進しましょう」とイキの合ったところをみせていた。

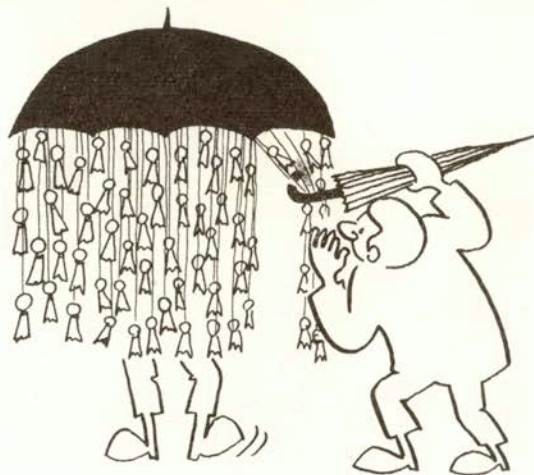
* KOBE オフィスレディ *



沖田素子さん(20)

神戸市役所市民相談係案内室

市役所は神戸の玄関口。沖田さんは案内嬢である。夜は神戸大学で経済を勉強する積極的なお嬢さん。バドミントンもやりたいし、ハーモニカも吹きたい、と望みは多種。今年4月からの勤め。北野高校卒。



July

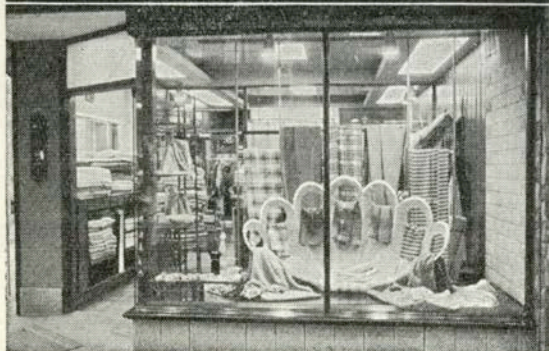
——もしもしやんでいますよ



Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689



晴れの日を飾る

ウェディングケーキ

5,000円より

披露宴・オードブル承ります

フランス菓子



三宮センター街・大阪富国生命名店街・六甲山頂

おんがら屋



きものと細貨

おんがら屋

神戸

西店/三宮センター街・電話3 3-8836 (代)

東店/三宮センター街・電話3 3-0629

三宮店/さんちかタウン・電話3 9-4303

東京

銀座北店/銀座並木通り・電話573-5298 (代)

銀座南店/銀座並木通り・電話572-4847

渋谷店/東急本店・電話462-3409 (直)

日本橋店/東急日本橋店・電話211-0511 (代)

(4階和装名産街)

(内線294)

KING'S ARMS

DELUXE CHOCOLATE

一粒、一粒が違ったキャンディと
チョコレートのハーモニー……
キングスアームチョコレート……
このセンスがあなたの心をとらえ
ます。



チョコレート*キャンデー

ゴンチャロフ

本社 神戸市生田区加納町4の1 TEL(39)-2636

直売店 さんちか・スイーツタウン TEL(39)-3563

★ニューヨークを後に……………

ヨーロッパかたつむり

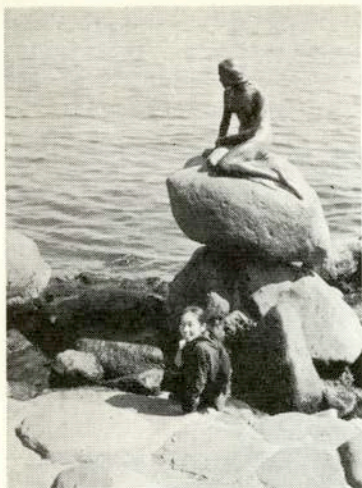
おしどり漫遊記

中西 勝・咲子



ニューヨークから船旅でハンブルグに到着。ヨーロッパのかたつむり夫婦漫遊の模様をお知らせしましょう。

ハンブルグでフォルクスワーゲンのキヤラバン（ステイション・ワゴン・スタイル）を買いましたが、アメリカ・メキシコを旅した「白いかたつむり号」は好きな名なので、次は「赤いかたつむり号」くらいにしたいと思っておりますが、短時日で車を手に入れることは、新車でも思ったよりむずかしく、色の好みをいっておられませんでした。手に入ったのは、淡い黄土色（ベージュ）汚れたかたつむりだとか、土のかたつむり、はては泥かたつむりなどと、名前を考えてみるのですが、いよいよ



▲デンマークにて咲子さん

でいて、すっきりしません。とりあえず、フランス語を借りて、エスカル号（エスカルゴ）と呼んでいます。新車を買ったわけは、これを一年くらい乗りまわし、帰国する時に必要な三〇万円近くの値段で売れば、お金を持ち歩いているより賢いし、アワよくば日本まで持って帰ってと泡算段です。

さて、デンマークはユース・ホステルがまことに快適で、特に、シーズン・オフだったせいにか夫婦連れの私達は例外なく二人だけの家族ルームが与えられ、赤いカーテンのつってある清潔な室内にはお湯も出るし、何より有難いのは、鍋釜完備の台所で自炊ができることでした。煙草もお酒も自由で、居心地のよいことは、少なくとも私達が見つける安ホテルの比ではないので、ごたぶんにもれず「世界旅行・あなたの番」というベストセラーを一冊抱えて、もっぱらこの恩恵に感謝しながら、至極のんびりと、あちらの古城、こちらのさくら、花咲く農村と現代では信じられないほどの平和の郷をめぐりました。

デンマークの人の、特に田舎の人の親切さは、どんなに進んだ電算機でも計算することはむずかしいでしょう。その心づかいの美しさ、やさしさ、勝さんも、お咲さんも、もうぐにやぐにやになってしまっ、マネタック、マネタックと顔をくしゃくしゃにするのみです。

オーデンセ市のアンデルセン・ハウスを訪ずれた時はこの特殊な雰囲気をもって美術館にすっかり心をおぼれたお咲さんは「詩人の魂が真実と愛情にみち、かつ、平安であることの証を見た」と、大喜びの感慨にむせびながら、「ムシ菌が痛くなるぞ、オバアチャン、」というリアリズムの勝さんの声をよそに、アンデルセンの好物だったらしい黒砂糖をべったり塗ったパンを買って食べたのでした。

デンマークは平和すぎるので自殺者が多いのだと聞いておりますが、それはある夕、西の果ての小さな漁村でした。北海の夕日がことさら美しく、春の夕波があまりにゆったりと白い砂を洗っているの、ヒゲの勝さんは手巻きタバコをくわえながら釣糸を垂れました。そのうち、何だか人が集まり、赤い十の字の白い車や、お巡り



さんもやって来ました。いつのまにこんなに人々が集まったのかわからないほど静かに。それで、つまり、今しがた人が海へ入って行って戻らないのだと、そういうのでした。若い人？年寄り？「知らないよ」と英語を話す小学生は澄んだ瞳の色でいいました。救助船が海の中をかきまわしたり、潜水服の人がもぐったりしましたがダメでした。あたりがあまり詩的なので、自殺という痛ましい感じではなくて、あわれ美しきかと、夢のような気分でありましたが、その夜おそく町角で、おぼろ月を眺めながらコーヒーを立ち飲みしていると、一台の車が激しくクラクションを鳴しながら、月の浜辺にすつとばして行くのを見ました。遠くから駆けつけた肉親の方でしょうか、現実はずっと違うぞなもしと考え直しました。旅人はロマンチックな思いに傾きがちで、時にはいい匂い我田引水の物語りを作りがちです。でも、食べものの味のよさは全く文句なしに嬉しいかぎりです。ピボーグという古色ゆかしい町で食べたオープン・サンドの色どり美しく、おいしかったのは忘れられません。やっぱり食べものは人間が作ったほうがいいですね。美しい風物と平和な政情が、やさしい人間の感情を育て、売り物のオープンサンドの中にみずみずしい愛情が息づいているのだと思います。今さらながらニューヨークの恐ろしい人間不在の形相を思い浮かべて、まあよく無事でとホッと胸をなで下すのです。ですが、コペンハーゲンに近くにつれて新しい四角いノッペラボウの建物がふえるにしたがって、この死のカゲがそつとのぞき、私達は「コペンハーゲン、ギザギザの街、ハイ、サヨナラ」と人魚の像とアポロの噴水のある花咲公園にわずかに心をとめただけで、惜しげもなく立去りました。皇室美術館も見なかったのは、後悔しましたが、その時は、ともかく折角のデンマークの美しい感動をこわしたくない一心でそそくさと逃げ出したと言っべきでしょう。デンマークでは、およそどんな小さな町でも、その町にふさわしい美術館があるようでした。美術品よりも、その土地の古



くからの生活の道具が愛情こめて並べられているのにも満足をおぼえるのでした。

およそ立ち寄った町は殆んど美術館をたずねているのにコペンで見えなかったのは我ながら微笑です。

「いーとこあるぜ」と勝さん。コペンをのがれて、ハムレットのモデルであるクロンボルク城のあるヘルシンガーへ参りました。ハムレットのお城は狭い海峡を隔てて目前にスウェーデンをのぞみ、白鳥の浮んでいるお堀には、青々と柳並木が芽をふいていました。このお城は、道中で見たフレデリックボルク城の壮麗豪華さと比べますと、規模も小さく、ずっと田舎の城という感じでしたが、素材で高雅な古武士の生活が、床板一枚、広間のシヤンデリア一つにも感じられて、私は大変好感を持ちました。飾られた絵画も、ヴェラスケスの女王像はすばら

しく、また、他の無名の人々の絵も、より芸術的に感じられました。どちらのお城にもおびただしい肖像画が飾られていましたが、気のせいかな金々したフレデリックボルク城には、権謀術策に生きる人々の顔には優雅な気品が感じられました。一つのお城の歴史を全く知らないのですが、このはつきりしたちがどこから来るのか大変興味を持ちました。ハムレットのお話の本当なら、そちらもなかなか殺伐なものだけれど。

お城のすぐそばからフェリーに乗ってスウェーデンに渡りました。南部の半島を横切ってカルマルという町の古城を写生している時は全く寒く、城壁の裾を洗う波もうづくまる白鳥も、みぞれ雨の中に凍えるようでした。五月の半ばというのに。サンチョパンザはエスカル号にエンジンをかけたままオーバーに足を包んで日記や家計簿をつけているからいいようなもの、ドン・マサールは悲壮なる孤軍奮闘。けれど、戦い終わった後のさわやかさはまた格別らしく、のどかに山中を車を走らせていると、驚くなかれ二匹の大カモシカがひよっこりと雪の森林のほとりに姿をみせました。さてこそは、偉大なりしカルマル城主のなつかしい姿を、今、このヤパーニッシュ・サムライのひげ面に見出したのに違いないと、まあ、いささか自惚れた次第ナノサ。

ストックホルムは雪が深いと聞いて、エスカル号足踏みをするので、スウェーデンはまた来る日にと、三日程でデンマークに戻りました。日が射せば黄金波うつ菜の花畑と麦野原、並木の高い梢はすでに若葉をつけているのですが、このところ、大方曇り空で、群がる雲は北ドイツの画家エミール・ノルデの絵のように地平や畑に突きさすように落ちかかって来ます。

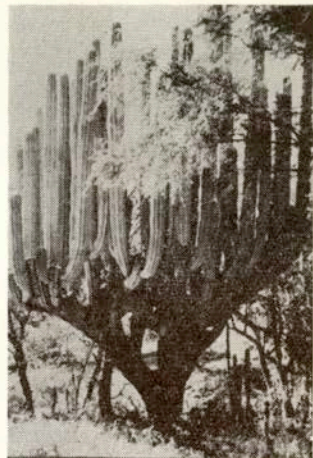
その日、お咲さんは満四十才のお誕生日を迎えましたので、勝さん早速、一句お祝に贈ってくれました。

若みどり とけて流れて 雲四十

さわやかだった若みどりも、とうとううるさい雲はあ

●MEXICO ALBUM

モンテアルバンのサボテン



祭日に晴れ着をきた咲子さんと中西先生

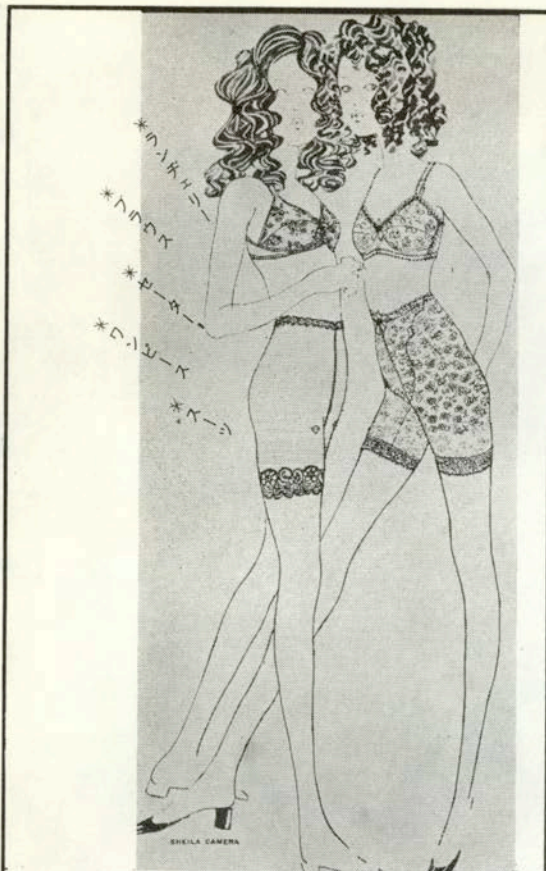


上下はロバにのった中西夫妻

さんになったという実感のよく出た名句で、感心しておりましたが、よく考えてみると、感慨まことに深いタメ息となつて洩れ出る次第。居心地のいいデンマークに、心ならずも春の一カ月近くを引きとめられて、さて、さて、国境の海を渡るフェリーの中で、デンマークの芋しようちゅう、ステキなアルボーグ酒を二本も買って（無税で半値）ハンブルグに戻り、旧制中学時代の級友である日綿支配人の荻谷氏からヨーロッパ旅行の詳細な地図やアドバイスを頂き、お米、画材などをつぎ足して、南ドイツへ向つてまっすぐ下ります。

ハノーバーからゲッチンゲンへ。ヒットラーの遺産といわれる高速道路のアウトバーンもこの辺りでたまたまひどいのみ方。へゲッチンゲンわずかに指呼の間、道が悪うて、アウト、バン、ゲッチンゲンと行きます。と口ずさみながら。これはアメリカの道を走って来た者の生意気さで、いやらしいとは知りながら、心のおごりは時に溜めがたいものです。天罪たちどころに目前に迫っているのも知らないで。フランクフルトに入ると町の中心部は工事だらけ、ゲート記念館も、アンデルセンハウスのように心に触れてくるものはなかったし、ニューヨークでメフィストの故郷をいやという程身に味わされたあとでは、ファウスト先生の冒険も高くは買えない。翌日は高名な国立美術館を見ようと勇んで出たのが運の尽き、アウトバーンの入り方にとまどい、工事中の道路に迷いに迷ったあげく辿りついたとたん閉館時間。明日またと思えば明日は特別の祭日で休館。とことんツイてないってやつ。旧宮殿内の図書館で何やら人気を集めているので、そちらをのぞいてみることにしました。

(つづく)



Shiya スギヤ

トア・ロード市電大丸電停前
TEL (33) 3436
六甲店・阪急六甲駅
TEL (87) 2731 (呼)



神戸っ子のセンスを生かす
*服飾 **KEI** の店

神戸・大丸前 服部宝生眼鏡店2F
大阪・堂島船大工町 日昭ビル1F
(344)(33) 631250

7月20日 PM 6 時の
マックのお客さま

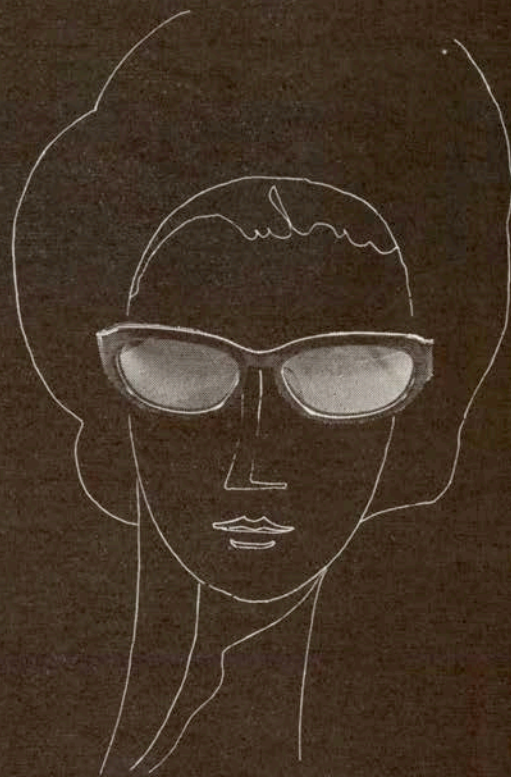


若人の服飾〈マック〉



MAC

★三宮本店／神戸センター街 ☎③90895★トアロード店／セ
ンター街西口 ☎③90896★新開地店／新開地本通り ☎⑤57688
★姫路店★京都店



 **神戸眼鏡院**

元町店・元町 3 丁目 ☎③21212代表
三宮店・さんちかタウン ☎③91874～5

☆技術ジャーナル

グラフィット

コンポジット

(GRAPHITE COMPOSITE)

諸岡博熊

△神戸市企画局調査部副主幹▽

日本の航空宇宙技術研究所が、グラフィット・コンポジット製の固形燃料ロケットを開発した。これにつかわれた材料は高温の窒素中で炭化させた化学繊維を層状に重ね樹脂で固めたもので、ノズル部は燃焼中一、六〇〇度Cの高温にさらしてみても、よく調べないとわからない程度のコゲ目がつくだけというプラスチック系材料とは思えない耐熱性を持っている。

× × × ×

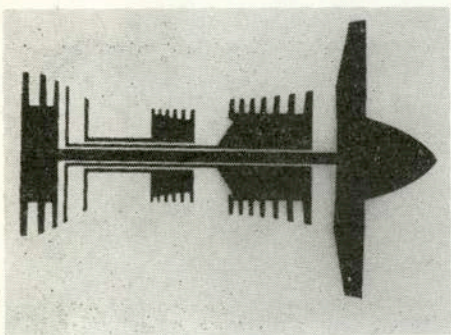
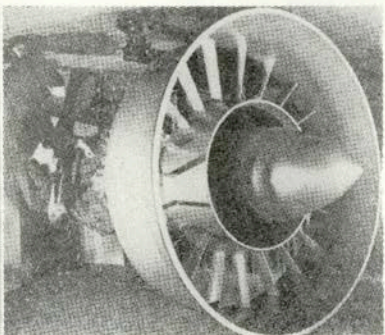
グラフィット・コンポジットとは、イギリスの名門ロールスロイ社が開発した新しい強化プラスチック材料で、金属材料に代っているいろいろの分野に進出しているGRP (ガラス繊維で強化したプラスチック) と兄弟分の関係にある。

この組成は、特殊な方法で炭素を滲みこませた化学繊維を層状に重ねて成型し、エポキシ樹脂で固めたものである。引張り強さは、一―六kg/mm²とクローム・モリブデン鋼なみであり、その重さたるや鋼の二〇%、チタニウム

の六〇にすぎない。許容温度は一六〇度Cであるが、プラスチックをエポキシ樹脂から、金属成分を含んだものやら、セラミック樹脂にかえれば、一〇〇〇度Cあたりまでの耐熱性がえられる。

× × ×

アメリカでは航空機メーカーが



写真は、ロールスロイ社のファン・ジェット・エンジン。図はその断面で、ブレードの位置を描いたもの。

実用化開発に主力を置いている。例えば、ノースロップ社がカーボン・フィラメントを使用した強化プラスチックを開発し、すでに空軍のノースロップF・5の外翼先端にとりつけ、この五月末から実用化テストを開始した。いづれ、ここ、五、六年後には、航空機の機体用に、アルミニウムやチタニウム合金の三〇%がこの材料に代るものと考えられる。さらに機体のほとんどが、このグラフィット・コンポジットになる可能性がある。その理由として、航空機の性能向上のため重量軽減と音速にもなう熱の壁突破のためなどのことを考えてみると、その使用は当然のことであろう。

× × × ×

航空宇宙研究所やロールスロイ社の製法は鋳型に入れて形成されるが、ノースロップ社のものは、液状プラスチックにひたした糸状のままのカーボン、フィラメントを母型にまきつけて成形する方法である。

とくに、ロールスロイ社のグラフィット・コンポジットは、ターボ・ファン・エンジンのファン・ブレードに長時間使用することに世界の注目が集まっている。すなわち、その結果によっては、航空機の性能の向上にどの程度役立つかどうかということである。

神戸のアーバンデザイン ⑬ 六甲山麓文化教育軸の提案

水谷 顯介 + チーム・UR

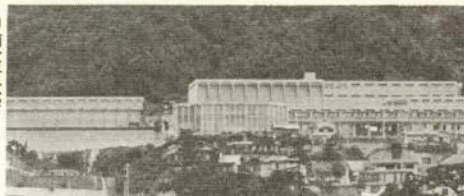
★六甲、灘、東灘の山麓には、いくつかの大学や学校が並んでいます。街なかから見晴しのいい高台へ飛び出していったキャンパス群です。神戸高校、六甲高校、神戸大学、神戸外大、甲南大学、神戸女子薬大、甲南女子大学という具合に、西から東へ並んでいます。

一つ一つ独立して配置されているこれらの教育施設をつないで、一つの山麓の文化教育軸にしたいというのが今回のテーマです。

大学群をつなぐ機能的な目的は一つ一つの総合大学や専科大学をチーム・ワークをくんだマルチバーシティ (Multiversity) に育てたいというわけです。資料交換、他大学の自由聴講などを積み重ねることによって、この大学群は、地域の文化情報センターに成長していくでしょう。

キャンパス群をつなぐ道は、山麓に平行したい散歩道にもなりません。その沿道には、大学に関連した研究所、アトリエなども建ち並んでいくべきでしょう。学生寮や教員宿舎の足もとに配置される喫茶店やレストラン、診療所などが、街の施設として色をそえます。また、現在すでにある小原会館や白鶴美術館も、重要な施設です。

大学の庭も、無用の者立入禁止ではない、都市の公園として活用していきたいものです。



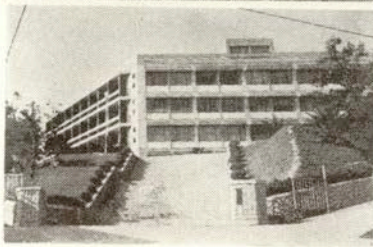
甲南女子大学



神戸女子薬科大学

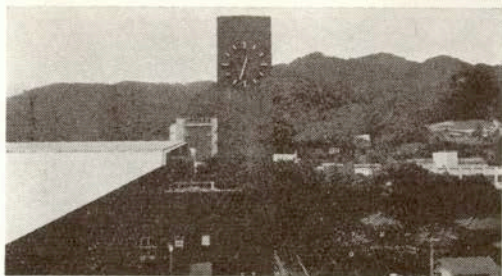


神戸大学



神戸外国語大学

甲南大学



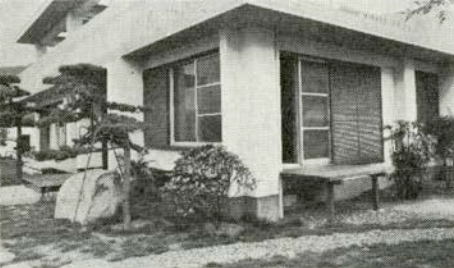


島田邸全景



室内からみた庭

和風の作り庭のみえる縁のある茶の間



★特に専門家にまかせていないすまいは、現代の住宅の中で要求されているいろいろな要素がそのまま現われていて興味深い。

今回のすまいは、新築の大きなすまいですが、めぐまれた敷地の中への庭の要求が、素直にいろいろな姿で出ていました。

南側は、ひろびろした芝生の庭です。運動場のように使いたいという望みが、そのまま現われています。西側は、子供の遊び場で、ジャングルジム、ブランコ、鉄棒が配置されています。東側は、和室につながるかたちでの縁台と松・竹・手水鉢が並ぶ和風の庭です。北側はサービスコート。

街の中のすまいは、めぐまれた大きな敷地をもつケースが次第にまれになってきています。このすまいと同じようにいろいろな要求を欲張ったら、みみっちい部分のゴタゴタした寄せ集めになってしまいます。そうなると、全部の要求を通すことは無理になってきて何かを切捨てなければならぬこととなります。極端な考え方は、個人住宅の庭は全廃して共同の庭にしてしまう方法です。そこまでいかななくても、個人の庭についても、専門家でない人の割り切り方の対比がいろいろ問題になるケースがふえてくるでしょう。(高月昭子)

庭の広さと機能

水谷頼介+チーム・UR

神戸のモダンリビング⑬